

## 公益財団法人ウェスレー財団

**2024 年度 事業報告**

(期間：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

**[1] 総務事項**
**1. 評議員会・理事会**

2024 年度は下記の理事会および評議員会並びに評議員選定委員会が開催され、提出された審議事項はすべて承認された。

開催年月日	評議員会・理事会	主たる審議事項
2024 年 5 月 28 日	第一回 理事会(定例)	①2023年度事業報告 ②2023年度決算報告 ③ 役員(任期満了理事)の評議員会への推薦 および任期調整 ④ 「出張旅費および経費精算に関する規程」 の一部改正 ⑤ 6 月開催の評議員会の日程
2024 年 6 月 12 日	評議員会(定例)	① 2023年度事業報告および決算報告 ② 役員(理事会推薦)の承認 ③ 新評議員の選任(野田沢前理事)
2024 年 6 月 12 日	臨時理事会	理事の職務分担および招集代行者の決定
2024 年 8 月 31 日	評議員選任委員会	野田沢前理事を新しい評議員として選任
2025 年 3 月 5 日	第二回 理事会(定例)	① 2025 年度事業計画 ② 2025 年度予算案

**2. 内閣府への報告**

内閣府への報告を下記の通り実施した。

- 2023 年度事業報告等 (2024 年 6 月 27 日提出)
- 2025 年度事業計画等 (2025 年 3 月 17 日提出)

### 3. ウェスレーセンター

#### 3-1: 改修工事・環境整備

- ウェスレーセンターは竣工から13年が経過し、設備の劣化や汚れが目立ち始めていた。このため、2023年度に実施したすべての照明のLED化工事に続き、2024年度は下記の改修工事を実施して、大幅な環境整備を図った。これらは、すべて全て予算内で実施している。

該当箇所	内 容	備 考
3 階	<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下の床タイルの全面張替え</li> <li>廊下の壁紙の全面張替え</li> <li>トイレ内の床タイル全面張替え</li> <li>トイレ内の壁紙全面張替え</li> <li>キッチン内照明への人感センサー化</li> <li>使用していない排水槽の撤去(スペース確保)</li> <li>廊下の表示板のスポットライト設置</li> </ul>	→ 暗がり箇所排除の為(防犯対策)
2 階	<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下の床タイルの全面張替え</li> <li>廊下の壁紙の全面張替え</li> <li>トイレ内の床タイル全面張替え</li> <li>トイレ内の壁紙全面張替え</li> <li>キッチン内照明の人感センサー化</li> <li>使用していない排水槽の撤去(スペース確保)</li> <li>廊下の表示板へのスポットライト設置</li> <li>201 貸会議室入口前室の人感センサー化</li> <li>204 貸会議室内に利用者用のクローゼットを設置</li> </ul>	→ 暗がり箇所排除の為(防犯対策) → 暗がり箇所排除の為(防犯対策)
1 階	<ul style="list-style-type: none"> <li>郵便ポストコーナーの壁塗り替え・コーナーガードの設置</li> <li>101 貸会議室の床コンセント増設</li> </ul>	→ このコーナーは共有部である為、費用は管理組合予備費から支出

- 今回の改修工事により、館内の主要な個所の改修は終了した。このため、当分の間、大きな改修工事は必要なく、日常的なメンテナンス中心でファシリティ管理が可能な状態になっている。
- なおウェスレーセンターには、もともと当財団だけでなく他のテナントも同様であるが、夜間の残業時間帯は、1名か2名の女性職員だけ、あるいはほんの少人数だけになり、防犯上の顕在的リスクがあった。更に、午後8時から翌日午前8時までは自動ドアがロックされてSECOMのセキュリティカードがないと入れないが、それ以外の時間帯は誰でも入館できる施設である。
- 確かに現在セキュリティ・カメラは館内に多く設置されている。しかし、あくまでも事後の確認が主たる目的であるために、不審者の無断滞在の未然防止という防犯の観点から、人感センサーを設置して館内の共有部から暗がり箇所の排除が必要であった。

- 本改修工事により、単に施設の更新のみならず、今後、防犯上の効果も期待される。併せて、各テナントに対しては、より質の高い就業環境の提供に資することが出来た。

### 3-2：避難訓練の実施

- 2024年10月8日に4つのテナント（UNHCR 駐日事務所、UNHCR 協会、東京英語いのちの電話（TELL）、ソメスサドル株式会社）の参加を得て、避難訓練および AED の体験会（SECOM の協力）を実施した。参加者は、各々約 40 名。
- 参加者が 2 階・3 階の避難階段を実際に歩いて避難経路を確認した後、101 会議室で参加者全員が AED の操作を体験した。
- コロナ明け後の初めてのテナントと一緒に避難訓練であったが、参加者からは前向きなフィードバックを得た。今後、内容を更に充実したものにして、継続実施してゆきたい。

### 3-3：廊下空調機の補修

- 2024年8月に3階のエレベーター前天井の空調機の補修を実施した。2階の空調と連動したものであるため、夏場の猛暑時でもあるにも拘わらず、2階と3階のエレベーター前廊下の冷房が効かない状態だった。
- このため、マンション側屋上の室外と併せて、部品交換を実施した。今後、他の空調機も耐用年数を迎える為に、同様の不具合が発生する可能性がある。

## 4. 顧問税理士および会計監査法人との連携

2024年度は、会計監査法人による会計監査の3年目であった。これまでの中間監査および期末監査を通して、財団の運営に関する問題点は指摘されていない。

また、代表理事、業務執行理事および監事が出席する月次会計ミーティングが開催され、顧問税理士から月次決算に関する報告を受けると共に、質疑応答セッションを通して財団の運営状況のモニタリングがなされている。

今後共、継続して顧問税理士および会計監査法人との連携を図り、必要に応じて専門的助言を得られる態勢を強化すると共に、第三者の専門的観点からのチェックも加えて、財団の会計処理および税務処理全般の健全性を担保していく所存である。

## 5. その他

### 5-1 経理担当職員および総務担当職員：

- 2025年3月25日より経理担当職員が産休に入るために、2月下旬より代わりの職員が入職した(正式な入職日は4月1日)。経理業務は円滑に実施されている。
- 2025年6月末日で総務担当職員が契約満了で退職する為に、新しい担当職員の募集を行っている

### 5-2 役員責任保険(D&O 保険)の更新

2025年度の役員責任保険(D&O 保険)を更新した(年額保険料：220,200円 前年度は218,000円。昨年度よりも財団の資産が増加したことによる保険料の変更)。

## [2] 経理・財務事項

- (1) 2025年11月より海外送金のデータフォーマットが変更となる為、期限に先駆けてフォーマット変更に対応した。これにより、送金データの修正件数と送金失敗件数が減少した。
- (2) 昨年度大幅に改定した配賦基準について、より実態に即した基準となるように一部見直しを行った。
- (3) 経費精算・仮払金申請等、紙媒体で実施していた手続きについて、電子形式に移行できるよう、キントーンによるアプリ開発を実施した。引き続き実装に向けて次年度もアプリの改修と紙媒体からの切り替えを進める。
- (4) これまでの経理担当職員が産休に入った為、新しい担当職員により経理業務は遂行されている。この後任への引継ぎに伴い、業務手順の見直しを実施するとともにマニュアルを作成し、今まで属人化していた業務の標準化を行った。

## [3] 広報事項

公式 SNS(Facebook, Instagram および X)への定期的な投稿を行った。今年度は国内外のプログラム関係者や学費助成金支給者などの関係者を意識し Instagram と Facebook に注力して投稿を行った。Instagram のフォロワー数は昨年度に比べ 125%増加した。

## [4] 公益目的事業

### 1. ウェスレーセンター管理事業：

#### 1-1 センター内の賃貸運営：

現在、下記の4つのテナントに対してオフィス賃貸を実施している。このうち、①から③までの賃貸が公益目的事業扱いとなっている。このテナント構成に変更はない。

- ① 国連難民高等弁務官事務所駐日事務所(UNHCR 駐日事務所)
- ② 特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会
- ③ 特定非営利活動法人 東京英語いのちの電話(TELL)
- ④ ソメスサドル株式会社(本社：北海道・砂川市 /馬具・革製品の製造・販売)

### 1-2 ゲスト・ルームの運営:

- 前年度と同様に、ウェスレーセンター4階の2部屋(402・403)を関係者用のゲスト・ルームとして運営している。
- マンション側(南青山パークハウス)と共にインターネット業者の変更があり、2025年3月より速度の速いインターネットに切り替えられている。

### 1-3 貸会議室の運営:

- 引き続き、101号室(99㎡)、201号室(38㎡)および204号室(68㎡)を貸会議室として貸出を実施していく。貸出時間は、いずれも午前9時から午後9時までである。
- 貸会議室の利用頻度は高くなる傾向にある。また、前年度同様、利用者の中には一般企業もあることから、非営利法人の使用料(全体の約40%)のみ公益目的事業として計上している。

## 2. 研修プログラム

2024年度に実施した研修プログラムの詳細は、下記の通りである。

### 2-1 国際プログラム:

2024年度は、国際研修プログラム3つ、国内プログラム7つの計10の研修プログラムを実施した。今年度は初の試みとして国際協働プロジェクト実施地域での国際研修プログラムの実施を行ったこと、キリスト教団体を集めて対外イベントを実施した。研修プログラム(国際・国内)の参加者は計143名(理事・職員を除く)となった。

#### (1) サービスワークキャンプ in Cambodia :

##### Service Work Camp in Cambodia (Global Partnership Area)

実施期間 : 2024年7月29日から8月6日

実施場所 : プノンペン、カンボジア

協力団体 : General Board of Global Ministries

参加者 : 16名(日本、フィリピン、インド)

日本からの参加者:12名(代表理事、理事1名、職員1名を含む)

参加者年齢 : 18歳から29歳

概要 : (1) ウェスレー財団が実施する国際協働プロジェクト事業の活動実施国であるカンボジアにおいて、労働奉仕活動を他のアジアの国の若者と共に実施した。  
(2) 職業訓練校として開校した、建物の基盤づくりの手伝いをカンボジアの若者、フィリピン、インドの若者と共に労働奉仕活動を行う中で、交流を通じて国際相互理解を促進した。  
(3) また、カンボジアの虐殺の歴史の地の訪問や、人身取引に取り組むNPO訪問、職業訓練を社会課題に関する理解を深める機会を提供した。

## (2) 国際協働プロジェクト・スタディ研修 in ラオス、ベトナム

- 実施期間** : 2025 年 1 月 18 日から 1 月 26 日
- 実施場所** : ラオス、ベトナム
- 参加者** : 4 名 (理事4名、うち研修3名)
- 目的・概要** : ウェスレー財団が実施する国際協働プロジェクト事業の活動実施国であるラオス、ベトナムのプロジェクト活動地域を訪問し、事業の取組みを学ぶとともに、パートナー団体のスタッフや地域住民たちとの交流を通じて国際相互理解を深めた。

### (1) アジア女性の為のリーダーシップ研修 :

#### Asian Young Women's Leadership Development Seminar 2025 in Malaysia

- 実施期間** : 2025 年 2 月 23 日から 3 月 1 日
- 実施場所** : クアラルンプール、マレーシア
- 参加者** : 41 名 アジア 9 カ国から参加者: 36 名、リーダー 5名  
日本からの参加者 :5 名、インターン 1 名、職員 1 名
- テーマ** : Empowered : テーマ聖句: テモテへの第二手紙第1章7節
- 参加年齢** : 20歳 から 41歳
- 目的・概要** : (1) アジアの若いクリスチャン女性(19 歳~37 歳)を対象にしたリーダーシップセミナーをマレーシアで開催した。各国の女性が直面する社会課題の共有や開催国マレーシアの多民族多文化、社会課題の一つである難民の子どもたちへ教育支援を行うNGO の活動を学ぶ機会を提供した。  
(2) 2025 年は、教会女性の東アジア地区の会議が同時期に開催され、教会女性の会議と連携をはかった。

## 2-2 国内プログラム :

### (1) Wesley Legacy Youth 2024 学費助成金授与・交流会 :

- 実施日** : 2024 年 4 月 29 日 (ハイブリッド形式)
- 参加者** : 24 名 (学生 21 名、理事 2 名、職員 1 名)
- 目的** : 学費助成金授与者としての自覚を促すとともに、交流の機会をとしてネットワーク形成に寄与する。

- 概要** : (1) 2024 年度学費助成金の授与学生に授与証を渡す「授与式」を開催した。  
(2) 2023 年度の助成期間を終えた授与学生から、1 年間の学びを報告。  
(3) 難民専門学校教育プログラム(RVEP)」の奨学生(シリア、ミャンマー出身)より、各々のこれまでの歩みや専門学校での学びについて話を聞いた。

**(2) インターンシップ・プログラム紹介イベント :**

**「あなたもできる！インターン ～キリスト教 NGO や福祉施設の働きを知ろう～」**

- 実施日** : 2024 年 5 月 31 日
- 参加者** : 12 名 (参加者 9 名、スピーカー1 名、理事1名、職員 1 名)
- 目的** : (1) 財団で実施するインターンシップ・プログラムの紹介  
(2) 財団が日本からの申込窓口となっている Global Mission Fellow (合同メソジスト教会世界宣教局がクリスチャンの若者を対象に実施している海外派遣プログラム)の紹介
- 概要** : (1) 特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン、公益財団法人早稲田奉仕園、学校法人アジア学院でインターンを経験した3名より、各々のインターン体験を報告があった。  
(2) Global Mission Fellow 参加経験者がスピーカーとして、フィリピンからオンライン参加して報告した。

**(3) キリスト教学校教育同盟加盟校交流会 2024 :**

**Fellowship and Learning Event for membership high school students of Association of Christian Schools in Japan 2024**

- 実施日** : 2024 年 9 月 16 日
- 場 所** : ウェスレーセンター1階 101
- 参加高校** : 北海道 北星学園大学附属高校、北星学園女子高等学校  
宮城県 宮城学院高等学校  
茨城県 茨城キリスト教学園高等学校  
東京都 国際基督教大学高等学校  
神奈川県 アレセイア湘南高等学校
- 参加者** : 18 名 (高校生 12 名、教員 4 名、職員2名)
- 概 要** : キリスト教主義高校の生徒たちが、各学校の歴史やレガシー、ミッションを調べ、発表し、他校の生徒との交流を通じて、お互いの視野を広げ、新たな気づきを育む機会を提供することを目的として開催した。

**(4) キリスト教団体 Open Day :**  
**Open Day/Christian Organisations**

**実施期間** : 2024 年 10 月 24 日

**場 所** : ウェスレーセンター 101

**参加団体** : 7団体 14名

日本キリスト教児童福祉連盟  
公益財団法人 JELA  
特定非営利活動法人 CWS Japan  
一般財団法人 日本聖書協会  
公益社団法人 早稲田奉仕園  
公益財団法人 東京 YMCA  
公益財団法人ウェスレー財団

**来場者** : 8名 (理事1名、職員1名、プログラム過去参加者3名)

**概 要** : 日本国内におけるキリスト教を基盤にした連盟や団体が連携し、各団体の紹介及び、就職相談、転職相談会を開催した。

**(5) 岩手三陸スタディー・ワーク・キャンプ**  
**Iwate Sanriku Study Work Camp**

**実施期間** : 2024 年 11 月 1 日から 11 月 4 日

**場 所** : 岩手県陸前高田市、大船渡市、釜石市

**参加者** : 7 名 (学生 3 名、社会人 2 名、外部講師 1 名、職員 1 名)

**概 要** : (1) 日本国内に住む若者を対象に「東日本大震災の復興の歩みと防災、減災に焦点を当てた学習と考察の場を提供することを目的として開催した。  
(2) 岩手県三陸の陸前高田市、大船渡市、釜石市の被災地域で体験談、復興支援に取り組む NPO の活動、震災遺構訪問、コミュニティへの訪問を通して社会課題と防災を学ぶプログラムの実施した。

**(6) プログラム報告会:**

**実施日** : 2025 年 3 月 22 日

**場 所** : ウェスレーセンター 101

**参加者** : 26名 (参加者22名、理事2名、職員2名)

**概要** : 2024 年度実施の「ミッションサービスワークキャンプ カンボジア 2024」、「岩手三陸スタディキャンプ 2024」、「若い女性のためのリーダーシップ研修、2025 in マレーシア」の参加者及び 2024 年度にインターンシッププログラムに参加した 2 名の報告会を実施した。

### 3. 助成金事業:

#### 3-1 公益活動:

##### 1) 2024 年度ソーシャルジャスティス活動助成金 (交付総額: 15,067,042 円)

- 国際相互理解の促進、青少年の育成、女性のエンパワメント、社会的弱者への支援等を目的として国内で活動している諸団体の事業を対象に募集を実施。
- 計 38 団体から申請があった。
- 選考委員会(小海代表理事、西川理事、生原職員)で審査した結果、28 団体への交付が決定。その後、1 団体が助成金を辞退し、2 団体が報告書未提出のため、最終的に 25 団体に交付。
- 交付先の詳細は、「別表-2」をご参照ください。

##### 2) 2024 年度開発・育成活動助成金 (交付総額: 3,967,708 円)

- 貧困や教育、保健衛生、社会的弱者の福祉向上などの分野で、アジア・太平洋地域ですでに 2 年以上実施されている事業を対象に募集を実施。
- 計 17 団体から申請があった。
- 選考委員会(小海代表理事、吉松理事、生原職員)で審査した結果、4 団体への交付が決定。
- 交付先の詳細は、「別表-3」をご参照ください。

##### 3) 2024 年度能登半島地震による特別活動助成金 (交付総額: 2,378,269 円)

- 2024 年 1 月の能登半島地震の発生に伴い、被災地ニーズに沿って緊急的に必要とされる救援活動ならびに人道支援活動を対象に、3 月と 9 月の 2 回に分けて募集を実施。
- 計 4 団体から申請があった。
- 選考委員会(小海代表理事、生原職員)で審査した結果、3 団体への交付が決定。
- 交付先の詳細は、「別表-4」をご参照ください。

#### 3-2 教育:

##### 1) 2024 年度学費助成金 (日本国内) (交付総額: 15,262,960 円)

- 経済的・社会的支援を必要とする日本国内の大学生、短大生、認可専門学校生で、社会貢献への意志があり、所属校から推薦を得た学生を対象に募集を実施。
- 計 36 名から申請があった。
- 選考委員会(小海代表理事、大久保理事、生原職員)で書類選考およびオンライン面接を実施した結果、計 22 校、27 名への助成金交付が決定。
- 交付先の詳細は、「別表-5」をご参照ください。
- 助成金受給者の声(抜粋)は、「添付-7」をご参照ください。

## 2) 2024年度学費助成金（アジア・太平洋地域）（交付総額：62,350米ドル）

- 経済的・社会的支援を必要とするアジア・太平洋地域の大学生で、ウェスレー財団のミッションパートナーである United Board for Christian Higher Education in Asia とネットワークのある学校に所属し、所属校から推薦を得た学生を対象に募集を実施。
- 計 48 名から申請があった。
- 選考委員会(小海代表理事、生原職員)で審査した結果、インド、インドネシア、バングラデシュ、フィリピンに所在する計 24 校、48 名への助成金交付が決定。
- 交付先の詳細は、「別表-6」をご参照ください。

## 3) 研修参加費助成金（交付総額：73,780円）

- 財団が主催するプログラム参加者を対象に、参加費の一部を助成。
- 2024年度は、ミッションワークキャンプ 2024 in カンボジアの参加者 1名と岩手三陸スタディキャンプ 2024 の参加者 1名(2名とも学費助成金の授与者)の参加費を負担。

### 3-3 人材育成：

#### 1) インターンシップ・プログラム

派遣先：

社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団  
特定非営利活動法人 CWS Japan  
社会福祉法人カナンの園

派遣者数：大学生 3名

- 日本に在住する 20～30 歳までの若者で、社会課題解決に関心があり、キリスト教精神を基盤とした NGO・NPO 団体、社会福祉施設、特別支援学校等でのインターンを希望する方を対象に随時募集を実施した。
- インターン派遣先とインターン生の仲介及びインターン生のフォローアップをし、インターン実施に必要な経費を助成した。

## 2) 短期人材派遣（交付総額：4,000,000円）

派遣先：

学校法人北星学園 北星学園女子中学高等学校

- 国内外で活動する諸団体で必要とされている専門職人材(教師、ソーシャルワーカー、医療従事者、エンジニアなど)の短期派遣事業を対象に随時募集を実施。
- 2024年度は、スクールソーシャルワーカー派遣事業に助成金を交付した。

## 4. 国際協働プロジェクト事業：

### 4-1 プロジェクト活動報告：

各協働プロジェクトの活動に関する詳細は、下記の通りである。

#### 1) CHAD ベトナム（期間：2020年4月～2025年3月）

「農業と保健衛生指導を通じた自立・持続可能なコミュニティ作り」

**General Board of Global Ministry of United Methodist Church との協働**

コミュニティー	: Dak Dam, Kong Vang, Queng Grai の 3 地区及び Siu,Imane (2022 より)
トレーニング参加者合計	: 1,215 名 (女性 600 名)
ローカルボランティア・トレーニング	: 121 名
プロジェクト合計	: 1,529
	( トイレ: 461 井戸: 128 養鶏: 422 養豚: 518 )
受益者合計	: 1,107 名 (192 世帯)
収益	: 21,357 米ドル
回転基金総額	: 12,832.17 米ドル

2) CHAD ラオス (期間: 2020 年 4 月~2025 年 3 月)  
「農業と保健衛生指導を通じた自立・持続可能なコミュニティー作り」  
**General Board of Global Ministry of United Methodist Church との協働**

コミュニティー	: Nalair, Hoican, Hoitan の3地区 及び Hoixeng(2024 年より)
トレーニング参加者合計	: 706 名 (女性 409 名)
ローカルボランティア・トレーニング	: 30 名
プロジェクト合計	: 357
	( トイレ: 163 井戸: 13 鶏/殖魚: 80 豚/山羊: 101 )
受益者合計	: 2,239 名
収益	: 72,962.17 米ドル
回転基金総額	: 8,845.99 米ドル

3) ネパール: (期間: 2022 年 1 月~2024 年 12 月)  
「貧困地区 Terai における栄養と保険衛生指導プロジェクト」  
**NPCS(Nutrition Promotion &Consultancy Service)との協働**

トレーニングの実施	: フィールド・スタッフ 15 名
	( 母親 : 240 名 青少年: 791 名 父親 : 240 名 祖母 : 330 名 学校 : 15 校 )
栄養指導	: 30 地区
5 歳未満児の成長モニタリング	: 3,579 名

中度栄養失調児へのリハビリ : 336名

- 1) カンボジア：（期間：2022年4月～2025年3月）  
女性と少女達をジェンダーに基づく暴力から守るプロジェクト」  
Misean Cara (Irish Government)と UNPFA Cambodia (United Nations Population Fund)との協働

内 容	: 「Mobil Safe App」の開発
キャンペーン開始	: 2024年11月25日

- 2) 「難民専門学校教育プログラム」：（2024年1月～2028年12月）  
Refugees Vocational Education Program : 公益財団法人 JELA, UNHCR と協働

- 2024年度は3名を助成した
- 2024年10月25日に2025年度の書類・面接選考が行われ5名が選考された。

#### 4-2. プロジェクトの現地モニタリング：

2025年3月で終わりを迎える4つの国際協働プロジェクトのために、下記の通り、現地モニタリングを行った。

- (a) CHAD ラオス、CHAD ベトナム：「農業と保健衛生指導を通じた自立・持続可能なコミュニティ作り」

訪問期間	場所	参加者
2025年1月18日～1月20日	CHAD ラオス	小海代表理事 西川理事 吉松理事

2025年1月 20 日～1月24日	CHAD ベトナム	小海代表理事 大久保理事 西川理事 吉松理事
--------------------	-----------	---------------------------------

(b) ネパール： 「貧困地区 Terai における栄養と保険衛生指導プロジェクト」

訪問期間	場所	参加者
2024 年 9 月 19 日～9 月 24 日	Terai 地区、ネパール	小海代表理事 西川理事

(c) カンボジア：「女性と少女達をジェンダーに基づく暴力から守るプロジェクト」

訪問期間	場所	参加者
2024 年 10 月 15 日～10 月 16 日	プノンベン、カンボジア	小海代表理事 大都理事 西川理事
2024 年 11 月 25 日 (アプリ施行開始キャンペーン式典)	プノンベン、カンボジア	小海代表理事

- このアプリ開発の様子、式典、UNFPA Tokyo、及び関西学院大学との協力で実施した活動については、NHK World Japan/Jibtv によって「カンボジアと日本の若者による G B V (Gender Based Violence)への取り組み」という短いドキュメンタリーで制作された。
- ドキュメンタリーの番組は、3 月 29 日(土曜日)に NHK ワールド衛星放送 CATCH JAPAN で4回紹介され、今後3年間 欧米のオンデマンドで発信される予定である。  
<https://wesley.or.jp/news/9830/>
- また、2024 年 8 月にカンボジアで実施したサービスワークキャンプの場所であった Hope Vocational School in Cambodia の開校式が 10 月 17 日に行われ、大都理事、西川理事、小海代表理事の 3 名が出席し、この学校の活動を支援するスタッフやミッションパートナー団体との顔合わせのほか、カンボジアでの様々なミッション活動を視察する機会を得た。

## [5] 収益事業

- 収益事業としては、① 一般企業向け貸会議室の使用料金、② 2 階テナント(ソメスサドル株式会社)及び③ 4 階居住フロアの 3 世帯への定期賃貸借料となっている。
- このうち、①の使用料金は階会議室の使用頻度に依存するが、貸会議室収益の約 20%が収益事業に計上されている。